

「健康長寿のまち・京都食育推進プラン」（平成28年度～32年度）の策定について

本市では、平成23年3月に策定した新「京（みやこ）・食育推進プラン」（計画期間：平成23年度～27年度）に基づき、市民、関係機関・団体の皆様とともに、食育の推進に努めてきました。

この度、同プランの計画期間満了に当たり、「食育に関する意識調査」を実施するとともに、「京都市民健康づくり推進会議食育推進部会」や市民意見募集を通じて御意見をいただき、「健康長寿のまち・京都食育推進プラン」を策定しましたので、御報告いたします。

1 プランの位置付け及び計画期間【P2～3】※「食育推進プラン」冊子における記載箇所

(1) プランの位置付け

- ・ 食育基本法第18条に基づく市町村食育推進計画
- ・ 「京都市民健康づくりプラン（第2次）」（平成25年3月策定）の「栄養・食生活」分野の推進プランであり、同プランの全体目標「京都市民の健康寿命を延伸し、平均寿命に近づける」を目指すプラン

(2) 計画期間

平成28年度から平成32年度までの5年間

2 食育推進プランの趣旨【P19～21】

(1) 基本理念

一人一人の市民が「食」への関心を高め、適切な判断力を身につけるとともに、「食」を通して「人」、「家族」、「地域」、「世代」がつながり、すべての市民が生涯にわたって健康で心豊かに暮らす。

(2) スローガン

「明日につながる今日の食 明日につなぐ京の食」

(3) 施策の柱と基本施策

基本理念に基づき、目指す姿の実現に向けて4つの施策の柱を掲げ、それぞれに基本施策を明確にし、**12個の新規事業**を含む**67個の個別事業**を展開します。

京都市民健康づくりプラン（第2次）の全体目標

「京都市民の健康寿命を延伸し，平均寿命に近づける」

健康長寿のまち・京都食育推進プランの基本理念

一人一人の市民が「食」への関心を高め，適切な判断力を身につけるとともに，「食」を通して「人」，「家族」，「地域」，「世代」がつながり，すべての市民が生涯にわたって健康で心豊かに暮らす。

施策の柱と基本施策

柱1 行動の変容

一人一人がまず実践
～豊かな食生活で健康づくり

基本施策

- (1) 食育の効果的な普及啓発
- (2) ライフステージに応じた食育の推進
- (3) 保育・教育活動を通じた食育の推進
- (4) 環境にやさしい食育の推進

柱2 環境の整備

みんなで協働・環境づくり
～実践できる「食」環境

基本施策

- (5) 保護者・地域との連携による食育の推進
- (6) 事業者との連携による食育の推進
- (7) 食育に関わる人材育成・ボランティアへの支援

柱3 京都の食文化

伝え・つなぐ京都の食文化
～はぐくむ豊かな「こころ」と「くらし」

基本施策

- (8) 京都の食文化の普及促進
- (9) 地元産物への理解の促進と地産地消の推進

柱4 安全と安心

食の安全性の確保と
安心できる食生活の実現

基本施策

- (10) 食の安全性の確保
- (11) 安心できる食生活の実現

スローガン

- ★明日につながる今日の食
- ★明日につなぐ京の食

目指す姿

- 1 朝食を毎日食べる
- 2 食卓を囲み家族や仲間とのだんらんを楽しんで食べる
- 3 主食・主菜・副菜をそろえる等バランスよく食べる
- 4 適正な体重を維持する
- 5 適切に食品を選択する力をつける
- 6 食品ロスの低減など環境を考えた食生活を実践する
- 7 健康的な食事をとることができる環境の充実を図る
- 8 食育指導員等の市民ボランティアの活動の充実を図る
- 9 京都の食文化を正しく理解し，継承する
- 10 地産地消（知産知消）を実践する
- 11 食の安全性が確保され，安心して食生活を営むことができる

(4) 数値目標 【P22】

目指す姿	項目		現状値 (H27)	目標値 (H32)	
1 朝食を毎日食べる	①朝食をほとんど毎日食べる市民の割合	3歳児	93.3%	100%	
		小学生	87.1%	100%	
		中学生	82.3%	90%	
		15歳以上	15歳以上の市民	80.9%	85%
			20歳代の男性	46.1%	70%
			30歳代の男性	59.4%	70%
20歳代の女性	61.7%		70%		
2 食卓を囲み家族や仲間とのだんらんを楽しんで食べる	②家族や友人と共に食事をする市民の割合		83.0%	85%	
	③夕食を一人で食べる小・中学生の割合	小学生	3.0%	減少へ	
中学生		8.6%			
3 主食・主菜・副菜を揃える等バランスよく食べる	④主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている市民の割合		49.2%	60%	
4 適正な体重を維持する	⑤「適正体重」の維持や「生活習慣病」の予防・改善のため「適切な食事」や「運動」を継続的に実施している市民の割合		73.1%	80%	
	⑥肥満・やせの市民の割合	肥満	40歳代の男性	32.0%	28%
			50歳代の男性	35.7%	28%
		やせ	20歳代の女性	20.3%	15%
			30歳代の女性	18.9%	15%
5 適切に食品を選択する力をつける	⑦外食や食品を購入するときに食品の表示（原材料・添加物・栄養成分・産地等）を参考にしている市民の割合		※1	60%	
6 食品ロスの低減など環境を考えた食生活を実践する	⑧食べ残しやごみを減らす工夫をする市民の割合		59.7%	80%	
7 健康的な食事をとることができる環境の充実を図る	⑨食の健康づくり応援店の登録店舗数		360店	1,000店	
8 食育指導員等の市民ボランティアの活動の充実を図る	⑩食育指導員の年間総活動回数		1,171回	1,500回	
9 京都の食文化を正しく理解し、継承する	⑪京都の食文化（行事食やおきまり料理など）を認知している市民の割合		52.9%	65%	
10 地産地消（知産知消）を実践する	⑫「京の旬野菜」供給量		10,546t	11,000t	
	⑬地元の農産物を日頃から購入するようにしている市民の割合		55.9%	65%	

※1：【参考値】外食や食品を購入するときに、栄養成分表示を参考にしている市民 49.9%

(平成27年度京都市食育に関する意識調査)

(5) 新規事業 *本プランに新たに掲載する取組（現在進行中の取組を含む）

*施策の柱4「安全と安心」（第2期食の安全安心推進計画）の取組を除く。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 「食の健康づくりリーフレット」等の発行 ② 中央卸売市場第二市場改築時における食育設備の設置 ③ 非常時に備えた食料等の備蓄の推進と調理の工夫の啓発 ④ 生ごみ3キリ運動の推進 ⑤ 「食べ残しゼロ推進店舗」認定制度の推進 ⑥ 小学校モデル校での給食生ごみの堆肥化事業 ⑦ 地域住民から保育園（所）等の保護者・子育て家庭へ伝える食育の推進 ⑧ 「食の健康づくり応援店」事業の推進 ⑨ 「食の健康づくりハンドブック」の発行 ⑩ 食育指導員の活動の場の拡大と基盤強化 ⑪ 京都の食文化推進プロジェクトチームによる京都の食文化の普及促進 ⑫ “京都をつなぐ無形文化遺産”「京の食文化」の普及啓発 |
|--|